



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成27年11月1日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



秋の収穫

※写真の説明はP 8 下段参照

第42号の内容

- 9月定例会議の一般質問・・・・・・・・・・ P 2－4
- 特別委員会・・・・・・・・・・ P 4－5
- 10月会議・・・・・・・・・・ P 5－6
- 9月定例会議の議案質疑・・・・・・・・・・ P 6
- 常任委員会レポート・・・・・・・・・・ P 7
- 議会活動と編集後記・・・・・・・・・・ P 8

第42号

いっぱん質問

9月定例会議の一般質問



宮田勝三 議員

問 プレミアム商品券は適切な手法だったか

町民の何%の方が購入されたのか交通弱者の方、健康を害しておられる方、発売当日勤務の方への配慮はあったのか。また、先着順という発売に疑問はもたなかったのか。住民すべての方に権利があると思われるので、事前申し込みが最善と思われるが町長の考えは。

答 公平に欠け配慮と検討が必要

町長 1回目と2回目の延べ世帯数で19.1%であり、交通弱者への配慮ということで内浦、柳田、能都にしたが、健康を害している方や、当日勤務の方などへの配慮について



プレミアム商品券見本

では不十分であったと思われるので、平等という観点から今回の取り組み結果を踏まえて、事前申し込み、あるいは抽選という形が公平な機会を与えるということから、配慮と検討が必要と思われる。



市濱 等 議員

問 耕作放棄地対策と企業誘致

離農耕地に農業法人による新たな農業が展開されようとしている。町の受け入れ体制は。灌水施設整備に、土地所有者の一部負担金は農業を辞めた高齢者には重く、地域に対して抜本的支援が必要ではないか。

答 参入企業を地区の中心経営体に育てたい

町長 企業を育てるには集落の理解、協力が必要だ。次代を引き継ぐ後継者を育てる想いで対応して頂きたい。このような地域に支援も検討したい。

問 入札制度について

当町の入札制度には、旧町村間の枠組みが存在し、建設事業の競争入札の参加者が少数で、落札者が一部に偏っているように思われるが。また、総合評価方式、審査基準について、外部の有識者からの意見聴取はあるのか。

答 大きな工事は全ての該当企業を指名

町長 中規模、小規模の工事は地域の実情に詳しい当該地域の事業者を中心に指名している。地域経済に効果があり、企業が安定して持続できるように配慮している。総合評価は町の評価方式、8項目協力実績について評価をする。外部審査については北陸地方整備局、石川県土木部に依頼している。

(注) プレミアム商品券

能登町内において消費の拡大と購買促進を目的として、町内の取扱店で使える20%分のプレミアム付き商品券。

額面10000円の商品券12枚綴を1セットにした120000円分の買い物ができる商品券を10000円で発売。

平成27年度発行総額2億4000万円を発行。(能登町商工会)

(注) 総合評価方式

地方自治法施行令の規定に基づき、価格・その他の条件が町にとって最も有利なものをもって申込みをした者を落札者とする方式。(能登町建設工事総合評価方式試行要領より)



田端雄市 議員

問 プレミアム商品券

事業の総括と検証をどのようにしたのか。

答 多くの人に渡るよう高齢者障害者にも

町長 事業費は、総額2億4千万円。20%のプレミアム、一人上限5万円で行った。プレミアム分以外は、前回同様で実施した。1日で売り切れた。

反省点は、1人当りの上限を下げて多くの人に渡るようにすべきであった。また、高齢者、障害者に対する配慮が欠けた。

問 本年度の観光客の入り込みについて

珠洲市の報道が新聞紙上であった。本町と比較し、その総括と検証を問う。

答 今後も誘客促進に努めたい

町長 8月までの観光客の入り込みは、珠洲市と比較し、遜色はない、と思っている。例えば、レンタカー利用者の宿泊費補助は、7月、珠洲市が108台に対し、121台と上回り、8月も161台と伸ばしている。また、町内の宿泊者数も8月までの、前年対比で4604人の増となっている。国民宿舎など公共施設が14.9%、旅館、民宿などが8.3%の増となった。さらに『ふるさと納税』事業については、8月末で4000人を超え、金額で約6500万

円となっている。今後も周知を進め、誘客促進に勤めていきたい。

問 農業の担い手育成

本町の地方創生の主要な舞台ともいえる農業の担い手育成の現状と今後の取組について。

答 3点について実施小規模農家にも

町長 3点について実施している。

①既存の農業者への支援として、農業機械の購入支援、将来的に自立経営が可能なビジョンを目指し、県とともに経営指導、営農指導を実践している。
②町外からの就農希望者への支援として、県との連携で、農業インターンシップ事業を展開、都市部在住の農業経営などに志の高い人を対象として受け入れしている。

③農業生産法人等の企業誘致や異業種法人の複業化支援として、昨年、茨木県の農業生産法人を誘致、町内の青年2名が雇用された。また、地元建設業の異業種参入に対して、町内学卒者が入職している。

また、小規模農家の担い手については、青年就業者、複業化を含めた企業の育成のバックアップを図りながら、後継者に対する支援、継続的なサポートをしていく。

(注)

農業インターンシップ

農業で生活することに興味を持っている都市部のインターン・Uターン者に対し、約半年間、能登町で農業に従事しながら生活を体験してもらう研修制度のこと。



金七祐太郎 議員

問 移住・定住促進

移住定住促進のため

に、移住体験の家の確保や空き家改築の助成金の増額、また空き家に残っている家財道具の処分費用の助成の新設、町による物件の借り上げができないか。

答 今後調査し検討する

町長 移住の希望者が増えている現状を踏まえ、体験の家は、物件の確保に向け情報収集につとめています。空き家の改築費用の助成金の増額や家財道具の処分費用助成の新設、町による物件の借り上げを検討する。

(注) 移住定住に関する助成制度

●ふるさと定住住宅助成金
新築、改築に50万円を限度に2分の1を助成。

●定住促進助成金

Uターン者に対し就職後2年目、3年目の末にそれぞれ5万円を助成し、またその事業者に対して給与の3分の1を5万円を限度に6カ月間助成。

●第1次産業I・Uターン支援助成金

賃貸住宅助成3万円を5年間、初年度生活準備金5万円助成。
(詳しくは、能登町のホームページへ)



酒元法子 議員

問 町幹部職員の女性登用等について

町幹部職員の登用状況や行政委員会・付属委員会の女性委員の委員総数に占める割合及び一般公募に対する割合並びにサポート体制事業の実施状況について問う。

答 女性の活躍推進は持続的成長に不可欠

町長 町の課長級16名中1名、課長補佐級19名中3名登用している。

次に、男女共同参画推進状況では、推進審議会を設けて第2次プランを担当課と協議検討しているところである。

女性の活躍推進は、町の持続的成長に不可欠で

競争力強化に繋がるので、さらなる改善を実施していきたい。

問 児童虐待の現状把握と対応策

当町における児童虐待の実態の有無と対応策について

答 要保護児童の早期発見や適切な保護に努める

町長 町では児童福祉関係機関、保健医療、警察教育、人権擁護等、計15機関による町要保護児童対策地域協議会を設け要保護児童ごとに個別ケース検討会議を開催し対応している。

昨年度の取り扱い件数は、12件となっている。今後とも関係機関の協力のもと、虐待を受けている子供をはじめ要保護児童の早期発見や適切な保護を図るため協議会活動を強化していきたい。

問 能登の広域組織再編・機能強化は

能登地域活性化のため能登半島広域観光協会、のと里山空港利用促進同盟会、能登定住・交流機構、産業創出支援機構能登サテライト等が個別に活動しているが、これらの組織を根本的に再編統合し職員も派遣方式から専任として総合的な組織強化を図ればどうか。

答 広域圏事務組合等と議論検討したい

町長 組織的には民間組織や自治体が絡んだ組織等あり統合は難しい面もあるが、奥能登は一つという考え方から意欲ある人材を充てることは非常に重要である。今後の体制については検討が必要であり、町としても奥能登広域圏事務組合に投げかけ体制づくり等も議論・検討したい。

まち・ひと・しごと創生特別委員会活動

平成27年9月18日に「しごと分科会」は、調査のため漁協能都支所（午前）及び漁協小木支所において意見交換会を実施した。6名の委員が参加。活発な意見交換が行われた。また、9月29日から30日においては特別委員会・東京研修として、11名の議員が参加。29日は、参議院議員会館において、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局の鮎澤参事官補佐・谷村氏より地方創生につき説明があり議員との意見交換も行われた。翌日の30日には、茨城県つくば市にある有限会社ワールドファームを視察し、露地栽培のキャベツ畑や加工場を訪問。8名の若い新入社員とも話し合う機会を得た。有意義な意見交換会であった。



参議院議員会館での研修



ワールドファームの畑視察



ワールドファームの加工場視察



ワールドファームの畑視察



漁協能都支所



漁協小木支所

決算特別委員会の設置

平成27年第4回議会9月
定例会議開会日に6名の委員
からなる決算特別委員会
が設置された。

議会最終日には、決算審
査の意義を高めるため町の
事務に関する書類及び計算
書を検閲できるなどの議
権限を委員会に委任する
委第2号「事務検査に
関する決議について」が追加
提出され、市濱委員長
の提案理由の説明があり
原案のとおり可決されまし
た。

付託された

平成26年度各会計決算

- 認定第1号 一般会計歳入歳出
決算の認定について
- 認定第2号 有線放送特別会計
歳入歳出決算の認定について
- 認定第3号 国民健康保険特別
会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第4号 後期高齢者医療特
別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第5号 介護保険特別会計
歳入歳出決算の認定について
- 認定第6号 観光施設特別会計
歳入歳出決算の認定について
- 認定第7号 公共下水道事業特
別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第8号 農業集落排水事業
特別会計歳入歳出決算の認定に
ついて
- 認定第9号 漁業集落排水事業
特別会計歳入歳出決算の認定に
ついて
- 認定第10号 浄化槽整備推進事
業特別会計歳入歳出決算の認定に
ついて
- 認定第11号 簡易水道特別会計
歳入歳出決算の認定について
- 認定第12号 水道事業会計決算
の認定について
- 認定第13号 病院事業会計決算
の認定について

決算特別委員会委員長報告（要旨） 10月会議

去る10月1日から10月6
日までの実質4日間の日程
で委員会を開催し、決算書、
事項別明細書、各種調査書、
主要施策の成果説明書、監
査委員の審査意見書などに
基づき、関係課等から説明
を聴取し、予算執行が適正
かつ効率的に行われたか
について慎重に審査したと
ころであります。その結果、
全会一致で原案のとおり認
定することに決定した。

審査の過程において各委
員から指摘のあった主な意
見について報告する。

町税、及び各種受益者負
担金等の滞納について、引
き続き収納努力をされた
い。人口減少に対する危機
感を持ち、子育て環境の更
なる充実と、婚活イベント
等の積極的な実施によつ
て、縁結びの実現に向けて
努力していただきたい。町
外から進出した企業との連
携によつて、6次産業化の
取り組みや、U・I・ターン者
の定住対策を構築してもら

いたい。U・I・ターンの受
入と住民の定住促進のた
め、公営住宅等の新築、建
替えなどを積極的に検討し
ていただきたい。施設使用
料の減免規定適用の在り方
に差異がある。適切な対応
を望む。ふるさと納税につ
いては、今後「企業版ふる
さと納税」の検討がなされ
ることに鑑み、より一層の
充実を図り、町のPRと新
たな事業の展開につなげて
もらいたい。児童数の減少
と高齢化が進んでいる社会
情勢の中で、スクールバス
等の運行形態の在り方に
ついて検討されたい。

水道事業会計では、有収
率が経営状況を左右するこ
とから、その早期の改善に
努力されたい。病院事業会
計について、医師と看護師
の確保に、より一層の努力
を願うとともに、接遇にお
いて更なる向上に努められ
たい。以上が審査中に下さ
れた意見である。最後に、
一般会計の義務的経費全体
で5.4%の減、普通会計
の決算指標である経常収支
比率では0.5パーセント
の改善、町全体の借金返済
額の財政負担の程度を示す
実質公債費比率についても
2.2パーセント改善する
など財政の健全化に向けた
取り組みがなされたと評価
するところであるが、今年
度からの普通交付税におけ
る合併算定替えの縮減や、
国勢調査による算定基礎人
口の減などで予算を許さな
い状況の中にあつても、実
のある創生総合戦略の策定
によつて、消滅の可能性団
体からの脱却を期し、未来
に希望の持てる次年度予算
編成とされるよう要望し、
決算特別委員会委員長報告
とする。



委員長報告を述べる
市濱委員長



議案をチェック

9月定例会議の議案質疑

平成27年9月定例会議の議案質疑ということ、2名の議員が様々な角度から質した。

主な質疑、答弁は次のとおり。

問 田端雄市 議員

勤労者対策事業を問う。

答 ふるさと振興課長

今年度からシルバー人材センター事業の一環として高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を取り入れているもので、高年齢層が増加するなかで働く意欲をもつ方が、人手不足分野や介護等の現役世代を支える分野で就業を推進する目的で行われているものである。町は、国が内示決定した金額と同額を助成している

もので、今回の補正についてと同様である。今回特に、国のほうから冬期間就業できるような、派遣事業を増やすことを目的として、当初予算に対する国の交付決定額との差分10万円と今回の補正額55万円をあわせて65万円を補助するものであり、国も同じく65万円をこの事業に関し助成内定となっているものである。

答 町長

シルバー人材センターの方では、請負から派遣の方へ少し方向転換も進めている。新規就業先の開拓ということで営業色も強めている。また、シルバー人材センターの会員さんの仕事ぶりは非常に丁寧で、事業所のみな

さんからも高評価を得ているので、引き続き新規事業の開拓あるいは、派遣先の新規開拓を行ってまいりたい。

問 椿原安弘 議員

決算認定13件の内、歳入の欠損処分について。

答 税務課長

26年度の町税の不納欠損については、国保税も含め280万円ほどである。

不納欠損者は、全部で13名。主な理由としては、生活保護所帯が8名、全員相続放棄による処分が4名。その他1名。以上となっている。

答 健康福祉課長

介護保険料については、26年度不納欠損60万8601円につき対象者は7名、延べ件数で107件。内訳については、死亡4名、転出3名となっている。

「議会議案」

9月議会定例会議における議員提出議案

● 発議第3号 地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書の提出について

● 発委第1号 能登町議会会議規則の一部規則を改正する規則について
● 発委第2号 事務検査に関する決議について

● 発委第3号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出について

● 選挙第1号 奥能登クリーン組合議会議員の補欠選挙について

以上5件を議会議案として、9月15日に追加提出し、発議第3号から発委第3号までを原案のとおり可決。選挙第1号については、当選人として久田良平議員が当選。各関係機関に提出した。

第5回

能登町議会
10月会議

平成27年10月15日に第5回能登町議会10月会議が開かれました。

○ 議案第68号 請負契約の締結について（平成27年度能登町消防庁舎建設工事（建築））

○ 議案第69号 請負契約の締結について（平成27年度能登町消防庁舎建設工事（電気設備））

○ 議案第70号 請負契約の締結について（平成27年度上町コミュニティセンター建設工事（建築））

以上3件については、原案のとおり可決。また、9月定例会議において決算特別委員会に付託された認定第1号から第13号までの13件については、認定。

総務産業 建設委員会

國盛孝昭（委員長）
椿原安弘（副委員長）
田端雄市・市濱等
酒元法子・河田信彰
宮田勝三

9月8日に委員会を開催し議案4件を審議。全会一致で可決すべきものと決定した。審議後、管内視察を実施した。

●一般会計補正予算

●**閘道の駅・桜峠の増改築**
工事費が増額になった理由は

●**閘既存の建物**は平成8年に建てられ、平成10年に厨房ゾーンが造作されており、鉄筋コンクリート造りの建物である。その当時は100㎡以内で建築確認申請が不要であっ

た。今回40㎡を売店の部分だけ増築するつもりで当初予算に計上したが、

今回、県の建築主事と確認の結果、100㎡を超えるものについて、既存の鉄筋コンクリート造りに木造が繋がっているものは建築法上認められないということで、エクスパンションジョイント工法というもので2つの違った構造建物を建築するときは分離することになっていて厨房ゾーンも手狭なこともあり従業員のトイレもなかった。今回これを含めて改修し、増改築するためである。

●**閘町の固定資産台帳整備**
業務515万2000円について説明せよ。

●**閘固定資産台帳**は、今までは各自自治体で独自の作り方でしたので、今回統一的な台帳を作って

いくものである。

まずは、現況把握をして台帳を27年度中に、28年度中にそれをシステム化して更新できればと考えている。

●管内視察

イノシシ対策（国重）
消防署建設事業（上町）
道の駅「桜峠」
増築事業（当目）
町道藤波崎山1号線
工事（崎山地内）



教育民生 委員会

金七祐太郎（委員長）
小路政敏（副委員長）
南 正晴・向峠茂人
鍛冶谷眞一・久田良平

9月8日に委員会を開催し議案5件、請願1件、陳情1件を審議。議案5件は全会一致で可決すべきものと決定。請願1件、陳情1件をそれぞれ採択すべきものと決定した。

●一般会計補正予算

●**閘マイナンバー制度**にともない個人番号カードとなるが、これまで使ってきた住基カードはどうなる。

●**閘使っている住基カード**は有効期限までは使用できるが、個人番号カード取得時に引き換えとなる。

●**閘**運転免許返納時は個人番号カードに代わるものと思われる。

●**閘**個人情報流出する恐れがあり、やたらと身分証明に使用しないように通達があったように思う。

●**閘**慎重に対応していく。

●**閘**子供医療費は町内外を問わず窓口で負担分をしてから給付か、他市町では窓口無料化という話も聞いている。

●**閘**窓口無料化については、システムを輪島市、穴水町と共同運用しており、条件等を調整しながら検討していきたい。

●**閘**遊休施設や廃校などの管理は監理課か教育委員会かわからない、管理の一覧表はないのか。

●**閘**一覧表はないが、廃校は教育委員会で管理している。

●**閘**請願第3号「小間生地区コミュニティセンターの建設について」を採択。

●**閘**紙工房の整備内容の規模は。

●**閘**要望は聞いているが詳細は決まっていない。

●**閘**陳情第1号「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情書について」を採択。委員意見
自己責任と言えない部分があるので対応して頂きたい。

7月から9月の主な議会活動

- 7月3日 流山市正副議長来訪
- 7月8日 まち・ひと・しごと創生特別委員会ひと・しごと分科会
- 7月13日 全員協議会 能登町議会7月会議
- 7月21日 広報編集特別委員会
- 能登総合開発促進協議会理事会・総会（県議会庁舎）
- 7月22日 新任議員研修会（地場産センター）
- 7月31日 石川県戦没者慰霊式（県スポーツセンター）
- 8月3日 議会運営委員会
- 8月5日 まち・ひと・しごと創生特別委員会しごと分科会
- 8月11日 教育民生常任委員会
- 8月18日 議員・監査委員合同研修会（津幡町文化会館）
- 8月26日 子ども議会
- 8月27日 議会運営委員会 議会広報研修会（津幡町）
- 9月2日 石川県町村議会議長会議長協議会
- 9月3日 全員協議会
- 9月7日 第4回議会定例会議（議案上程） 決算特別委員会
- 9月8日 常任委員会
- 9月11日 議会定例会議（一般質問） 決算特別委員会
- 9月15日 議会定例会議（採決）
- 全員協議会 広報編集特別委員会
- 9月17日 熊本市美里町議会議員行政視察研修受入（①写真）
- 9月18日 まち・ひと・しごと創生特別委員会しごと分科会意見交換会
- 漁協能都支所（午前） 漁協小木支所（午後）
- 9月27日 能登町総合防災訓練（小木中学校他）
- 9月29日 まち・ひと・しごと創生特別委員会東京研修（①30日）（②写真）



次の定例会議は12月です

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。

ぜひ傍聴にお越しください。議場が3月より能都庁舎に変わっております。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

編集後記

今年の夏は、猛暑で健康管理が大変心配されましたが、おかげさまで無事に秋を迎えたと思います。9月の定例会議の初日、奥成議員の悲報で驚き入りました。

奥成議員のありし日を忍び心よりご冥福をお祈り申しあげます。

委員 酒元 法子



【奥成壮三郎議員逝去】

本町議会の奥成議員が9月6日逝去されました。氏は平成11年に内浦町議会議員に初当選以来、新町誕生後も含め連続5回当選され、この間、副議長をはじめ、広報編集特別委員長、教育民生常任委員長、総務常任委員長を歴任されるなど、16年の長きにわたり町政発展のため尽力されました。ご冥福をお祈りいたします。

能登町議会議員一同

※表紙の写真は、柳田小学校児童の稲刈りをした時の様子です。